

会議名称：平成26年度3月期古賀市社会教育委員会議

日時：平成27年3月19日（木）19時～20時30分

場所：リーパスプラザホール棟大会議室

主な議題：第2回生涯学習笑顔のつどいについて

傍聴者数：傍聴者なし

出席者：木下委員、小山委員、力丸委員、加藤委員、永井委員、橋本委員、平島委員、船越委員、松本委員、水上委員
（以上委員10名）

山田課長、本田係長、野田、篠塚（以上生涯学習推進課）

力丸館長、坂井係長（以上サンフレアこが）

欠席者：なし

事務局：教育委員会生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：①レジュメ

②（仮称）生涯学習センターの休館日の設定について

③「第2回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について

会議内容：以下のとおり

木下議長：

3月期社会教育委員の会議を始める。今日はまず協議事項として、生涯学習センターの休館日の設定について、事務局から意見を聞きたいということなので、説明をお願いします。

事務局：

生涯学習センター及び生涯学習ゾーンの整備に関しては、この会議で進捗状況をご説明し、適宜ご意見を伺ってきた。本日は生涯学習センターの休館日の設定について皆さんにご意見を伺いたい。

現在、中央公民館とサンフレアこがはそれぞれに開館時間と休館日を定めて運営しているが、今回の生涯学習センターの開館を機に、中央公民館、サンフレアこが、そして生涯学習センターが渡り廊下でつながることになり、これによって各施設利用者の行き来が生まれ、それぞれの活動の広がりや各施設の一層の活用が期待されていることから、施設全体の休館日についても統一する方向で検討している。このことについて委員の皆さんのご意見を伺いたい。具体的には月曜休館日の取扱いである。どちらの施設も月曜日が休館日であることは一緒なのだが、月曜日が祝日の場合、公民館はその日は開館し翌日を振替休館としており、一方図書館は祝日であっても休館する、いわゆる月曜固定休館日としている。

資料には参考として、現在の中央公民館とサンフレアこがそれぞれの開館時間と休館日を掲載している。またサンフレアこがはももとは中央公民館と同様の休館日の設定であったが、途中から変更しているので、その経緯について、また中央公民館大ホール及び大会議室の月曜祝日の利用状況についても掲載している。

また本日はサンフレアこがの力丸館長と坂井図書館係長も出席しているので、補足説明などいただきたい。

木下議長：

今事務局から説明のあったことについて、ご意見はないか。

永井委員：

質問だが、例えば生涯学習センターは閉館していて、図書館だけ開いている、というのは「あり」なのか。

事務局：

正直言って、事務局の中でも意見が割れている状況である。

永井委員：

自分の意見としては、公民館と図書館は施設の目的が違うので、別々でもいいと思う。

小山委員：

図書館にも休館日を変更した経緯があるのだから、施設全体が一体化するとは言え、実質的には別の施設なので、それぞれ月曜休館日の取扱いが異なっても構わないのではと思う。

平島委員：

施設を一体的に利用するという立場から言うと、休館日は合わせた方が使いやすい。

加藤委員：

図書館を利用する立場としては、休館日は月曜日と固定してあった方が分かりやすいので利用もしやすい。施設全体から見ると、合わせた方がいいと思うが。

松本委員：

基本的には、一体的に施設を運営するということになるので、3施設とも休館日を統一した方が一般の市民には分かりやすいと思う。ただし機能がそれぞれ異なるので、それぞれの事情があるというのであれば、別個に休館日を設定するのもしやむを得ないのではないかと。施設全体の利便性やそれぞれの施設の成り立ちなど多方面から検討した方がよい。

水上委員：

やはり同じところにある施設は同じ休館日の方が分かりやすいというのは確かである。機能が違うので別々に、というのであれば、例えば2階の渡り廊下部分は休館日が違って開けておく、ということできないのか。

橋本委員：

利用者に分かりやすいという点では、施設の休館日は統一した方がいい。また、施設管理という面からも、休館日が異なるというのは難しい面もあるのではないかと。月曜祝日の場合は開館してもらった方が市民は使いやすい。

木下議長：

他にご意見はないか。私の意見としては、生涯学習ゾーンという広い視点で考えれば、休館日は統一すべきである。各施設に事情があるというが、決まったらそれは市民に浸透していくものである。それぞれの施設がつながって、一体となる、という部分を重視すべきである。また、施設管理上、休館日を別にすることはできるのか。

小山委員：

今日は月曜休館日の話だったが、資料を見ると開館時間にも差がある。これは合わせるという考えはないのか。

事務局：

開館時間についても当然、今後の検討事項となる。

力丸委員：

図書館については過去に利用者の要望を考慮して変更した、ということだったので、逆に月曜が祝日の場合に開館してみても、どのくらい利用者があるのかを調べてみてもいいのではないかと。利用者が多いのが図書館にとってよいことだと思うので、本の返却数云々ではなく、利用者数で考えてほしい。私だったら、月曜日が祝日なら（図書館に）行くかな、と思う。

木下議長：

ではこの件についてはこれまで。力丸館長と坂井係長お疲れさまでした。

次に社会教育関係団体の登録申請について。古賀郷土研究会から申請が上がっている。何かご意見はないか。

ないようであれば、登録については問題ない、ということでよろしいか。

（異議なし。）

では次に、第2回生涯学習笑顔のつどいについて。この件については、加藤委員に進行していただく。

加藤委員：

では第2回のサブテーマについて、皆さん考えてきていただいたと思うので、意見を出してほしい。

（サブテーマについて以下のような意見が出された。）

- ・希望の朝が来た（←第1回のサブテーマ（新しい朝が来た！）からの連続性）
- ・皆が輝くときが来た
- ・手を取り合うときが来た
- ・力を合わせるときが来た
- ・つなげる、ひろげる、つながり、といったキーワード
- ・出会おうよ、つながろうよ、広げようよ、古賀の明日（もしくは ふるさと古賀）

加藤委員：

では「～ときが来た」の部分と「出会い」「つながり」というキーワードをつなげて、「出会い・つながるときが来た」というサブテーマに決定したいと思う。

残りの検討事項については、来年度のこの会議で継続して話しあっていきたいと思う。

木下議長：

では本日の会議はここまでとする。

本日の会議は2年任期の委員の最後の会議であり、私の12年間の社会教育委員としての最後の会議である。皆さんお疲れ様でした。